

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・パーティション等でお子様に合わせて準備。 ・相談室等、プライバシーへの配慮を改善したい。
	②	職員の配置数は適切であるか			○	最低人員は確保しており、他校舎からもヘルプがきているが、職員数の確保を行い、安全面を強化したい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・段差のある場所は、臨時のスロープを利用し、安全に入室できるよう取り組んでいる。 ・支援室は平らだが、廊下や玄関口段差があり、改善したい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で情報を共有し、振り返っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度保護者の方へ評価のお願いをしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果をまとめ、事業所 HP へ掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は取り組めていないが、必要な場合は外部評価を行う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			テーマ研修や事例検討会が実施されている。内容や方法を改善していきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・職員間で話し合い、保護者とのモニタリングを経て作成している。 ・計画作成の遅れがないよう徹底していきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・立案は個人でおこなっているが、振り返りや共有はチームで行っている。 ・方針のすり合わせや情報共有は全体でできているが、毎回の支援は担当指導員が行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な職員が関わり、固定化しないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			お子様の様子によって設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	基本、個別支援のため、季節ごとの集団活動以外には実施していない。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・直接の連絡の他、クラウドサービスを使い確認している。 ・必要に応じて行っているが毎回ではないため、毎日実施できるようにしていきたい。 	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・直接の連絡の他、クラウドサービスを使い確認している。 ・必要に応じて行っているが毎回ではないため、毎日実施できるようにしていきたい。 	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		お子様の様子や行った支援内容を書き残し共有している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しをしている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		基本活動について適切な対応を心がけ支援している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		できる限りふさわしい者が参加するよう努めている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	相談支援事業所を通し、必要な情報の共有を行っている。お子様によって情報量に差があるため、統一していきたい。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在は、医療的ケアを必要とする児童の受け入れを行っていない。今後必要があれば連絡体制を整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所との相談はあるが、就学前の保育園・幼稚園とは少ない。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	該当児童なし	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	市の専門機関とは連携の度合いが低いと感じるため改善していきたい。研修は、発達支援研究所から受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別対応を行っているため、交流の機会は設定していない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	現在直接的な関わりはない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		フィードバックや支援の時間に保護者から話を聞く機会を作っている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	保護者からの相談支援は随時行っているが、ペアレント・トレーニングは行っていない。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や変更があった際には丁寧にしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談に対してどのような助言や支援ができるか話し合い、している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後は機会を作っていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や苦情については、迅速に職員同士で共有し、適宜対応している。 明確に体制が整備されてはいないため、早急に行いたい。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	イベントのお知らせや休み期間のご利用については発行しているが、連絡体制等の発信はしていないため、早急に行いたい。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きのロッカーに保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			可能な限り個別に対応を行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域住民へ開かれた行事などは開催したことがなく、地域性や個別対応の観点からも検討しかねている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各マニュアルを策定し、職員や保護者が見える所に貼り周知している。 ・周知は行っているが、認知されていないことが分かったため、改善したい。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度避難訓練を実施している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に一度必ず虐待防止研修を行っている。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う場合には教室内で話し合い、保護者へ同意書のサインをいただき行政へ連絡した上で実施している。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供は行っていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			共有し、再発防止の話し合いをしている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸校

保護者等数（児童数）： 37 回収数： 37 割合： 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	7		活動によっては狭いと感じられるかもしれません。お子様が活動しやすい工夫をしています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	5		専門性については今後も研鑽を重ねていきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	9	6	不自由はない。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	37			今後もニーズの分析を職員で行い、適切な計画を作成します。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	34	3		スモールステップで内容を上げて行けるよう職員で情報共有を徹底します。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	8	19	・個別を利用しているので（いいえ） ・個人的にはそこまで求めていない（いいえ）
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	37			分かりやすく説明不足のないよう今後も行っていきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	2		保護者の方によってはお話しするお時間が少ない場合もあります。どの保護者とも平等にお話しできるような時間を設けます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	5		保護者の方発信でしている状況です。こちらから積極的に声がけしていきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	11	18	・特に必要ない（いいえ） ・個人的にはそこまで求めていない（いいえ）
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33	4		体制整備ができていないことが課題です。早急に整えていきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	1		LINEによってフィードバックを行うなどは対応していますが、配慮不足がないか職員で検証します。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	15		定期的ではなく、必要があれば、に留まっています。また連絡体制などの広報が不足しているため強化していきます。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	36	1		十分であることを心がけ、ご心配をおかけすることのないよう徹底します。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	12		マニュアルはあるが周知不足があり、また、お子様も一緒に訓練は実施していない。来年度は実施していきたいです。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	15	1	職員では行っていますが、お子様と一緒に訓練はしていません。来年度は実施するよう計画を立てます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	7		今後も継続してお通いただけるように努力していきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	33	4		保護者の方にもご満足いただけるように支援をしていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。